

花のプレゼント

長岡小と日章小の子供たちが自分たちの手で育てていた「人権の花」を四月七日、九日に清風園と白垂荘のおじいさん、おばあさんにプレゼントしました。

この「人権の花」は草花を育てることで優しい心を養ってもらおうと、昨年十月高知法務局と県人権擁護委員協議会長から子供たちに贈られたものです。



農業問題講演会

三月二十九日に農業問題講演会が市農協会館で行われ、約百三十人が参加しました。これは南国市の基幹産業である農業を今後どのような形で発展させていくかを話し合おうと、中国四国農政局建設部の岡野英二次長と(財)日本農業土木総合研究所の浅原辰夫理事長を講師に迎え、市が主催して開いたもの。

参加者たちは熱心に耳を傾けていました。



交通事故に

あわないようにと

安田大災海上、安田生命、安田信託銀行、富士銀行、芙蓉交通安全協会の四社、一団体が交通安全に協力するため、全国の新入生に贈る「黄色いワッペン」の南国市への贈呈式が三月二十五日、市役所で行われました。

新入生を代表して贈呈を受けた、五人のフレンド幼稚園児は、交通事故にあわないためのお守りに、大町市長からワッペンを付けてもらいました。

高知カシオ(株)より図書への寄贈

四月十日、高知カシオ株式会社の伝統工芸品産業全集「日本ビデオ八本セット」が寄贈されました。

同社はエンクロノクスを駆使した最先端のメーカー。染物、陶磁器等伝統工芸品と電子製品との違いはあるものの、「もの造り」という共通点があり、伝統工芸産業に感銘した高知カシオが地域貢献活動の一環として贈呈したものです。



春の交通安全運動



春の交通安全の一環として、南国市交通安全市民会議(大町行治会長)が主催。南国署と市、交通安全協会南国支部等の参加で二つのキャンペーンを実施しました。

交通安全運動初日となる四月六日に交通安全キャンペーンとして、参加者が早朝から立て看板をもって街頭に並び、無事故で安全運転を、とドライバーに呼びかけました。

また、四月十四日には大藤小で、新入児童に黄色の帽子を贈ったあと交通安全教室を行い、交通ルールについて指導。

児童等は数話術のケンちゃん交通安全についての楽しい話やミニ信号機を使った正しい横断の仕方について指導を受けました。

なお、このたび県の交通安全功労者として、県役敏子さん、門田悦男さんの二人が表彰を受けました。



東崎西部小集落地区改良事業完了する

同和地区の住環境などの改善を図るためのハード事業である、東崎西部小集落地区改良事業が三月で終了しました。

差別の結果でもあった狭い家並みは一掃され、JR後免駅の線路沿いから舟入川にかけては公園化された閑静な区域に、桜と梅の植えられた石積みの護岸は、市民の憩いの場として親しまれることでしょう。

何年後には、桜の名所になるかも。